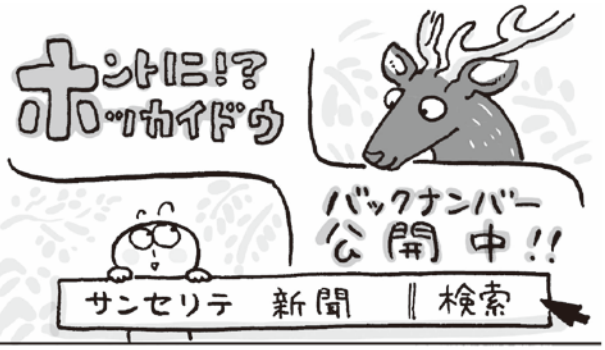
ホントに!? ホッカイドウ

第40回

～となりのエゾ・アニマルズ～

さて今回の主役は、北の大地に生きる動物たち！皆様ブラキストン線ってご存じですか？ 北海道と本州の間を境に、動物の種類が結構変わるんです。



たとえばエゾシカとニホンジカと人間を並べてみると…エゾシカって、でっかい！ これはベルクマンの法則といわれ、哺乳類は寒い土地に住むものほど、熱を逃がさないよう体が大きくなりがちなのだそうです。

そんなでっかい生き物と人間のお付き合いには正直難しい面も色々あります。動物注意の標識にはこんなものも。

実際、運転中に突然エゾシカが飛び出してきて思わず顔が劇画調になってしまった経験を持つ道民は決して少なくありません。

以前サンセリテスタッフのらっし～が、JRに乗っていた時のことです。駅でもないのに列車が停車し、その後ゆっくり走り出すも、警笛を鳴らしてまた停車…ざわつく車内。そこに車掌さんから「えー、ただいま線路内にシカが侵入したため運転を見合わせております」というアナウンスが。

「やれやれ仕方ないなあ…シカだけに」と駄洒落混じりのホッコリムードに包まれて、少々遅れつつも列車は無事に駅へと到着したのでした。

こんな調子で課題は山積みなれど、同じ北の大地に暮らすものとして、今日も道民たちは自宅の裏庭にシカ避け網を張ったりして一生懸命対策しているのであります☆